

事務連絡
令和5年7月6日

管内バス・タクシー・トラック関係団体 御中

関東運輸局
自動車技術安全部 保安・環境課長
自動車交通部 旅客第一課長
旅客第二課長
貨物課長

梅雨前線による大雨への対応について

気象庁によると、中国大陸の梅雨前線は、7日には西日本までのび、活動が活発となって10日にかけて西日本から東日本付近に停滞する見込みです。

また、前線に向かって暖かく湿った空気が流入して大気の状態が不安定となり、九州では7日から雷を伴った激しい雨が降り大雨となり、その後、大雨の範囲は東日本にも広がり、10日にかけて九州や中国地方など西日本を中心に大雨となるおそれがあります。なお、6月28日からの大雨で、九州を中心に地盤が緩んでいる所があるため、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがあります。

これにより、上記各地方において、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒及び落雷に注意が必要です。また、梅雨前線は、11日以降も日本付近に停滞するため、今後の気象情報に留意が必要です。さらに、北海道地方では、6日は、低気圧や上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所があります。このため、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒するとともに、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意が必要です。

つきましては、貴会会員に対して、下記の点に留意するよう周知方よろしく願います。

記

- ・ 気象状況の把握に努め、輸送の安全確保に万全を期すこと
- ・ 社内における連絡体制を確保すること
- ・ 安全運行が確保できないおそれがある場合は、運休や運行計画の変更などの指示を行うとともに、利用者に対して運休や運行計画の変更などの情報を発信すること
- ・ 車両の退避など出水への事前対応を実施すること

梅雨前線による大雨について(第7報)

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒)

参考

<ポイント>

中国大陸の梅雨前線は、次第に活動が活発となって7日(金)には西日本までのび、10日(月)にかけて本州付近に停滞する。7日から10日にかけて、西日本を中心に再び大雨となるおそれがある。

<概況>

中国大陸の梅雨前線は、7日には西日本までのび、活動が活発となって10日にかけて西日本から東日本付近に停滞する。

<大雨>

前線に向かって暖かく湿った空気が流入して大気の状態が不安定となり、九州では7日から雷を伴った激しい雨が降り大雨となる。その後、大雨の範囲は東日本にも広がり、10日にかけて九州や中国地方など西日本を中心に大雨となるおそれがある。なお、6月28日から大雨で、九州を中心に地盤が緩んでいる所があるため、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

<警戒事項>

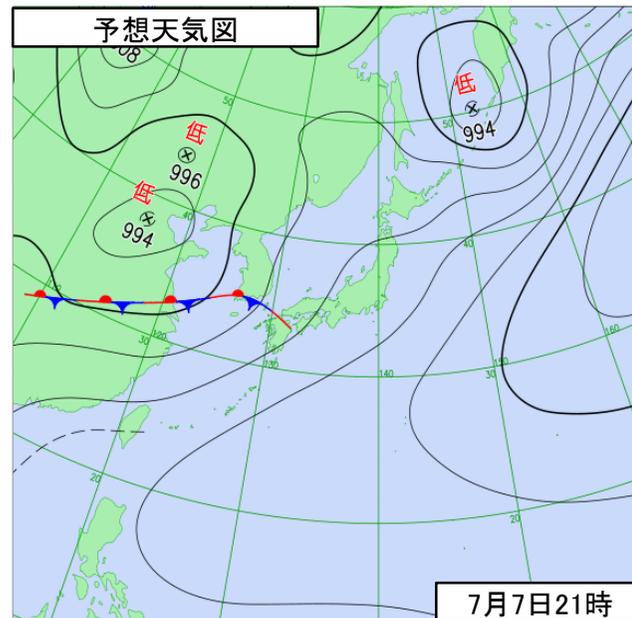
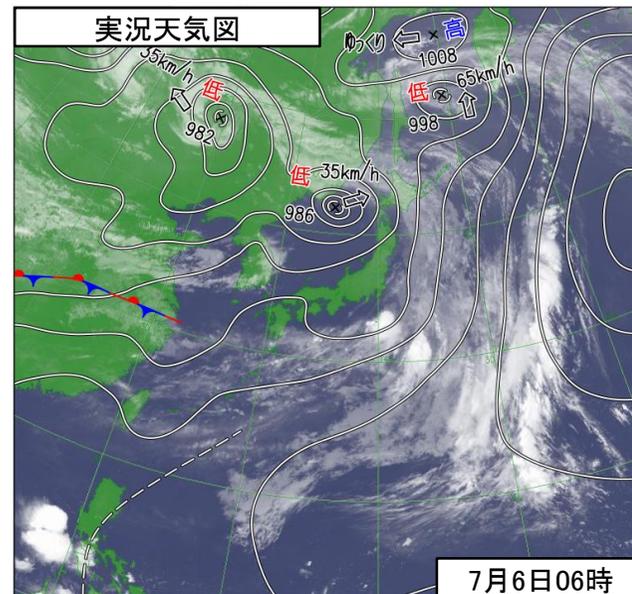
土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。落雷に注意。

<11日(火)以降の見通し>

梅雨前線は、11日以降も日本付近に停滞するため、今後の気象情報に留意。

<北海道地方の6日(木)の見通し>

北海道地方では、6日は、低気圧や上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。



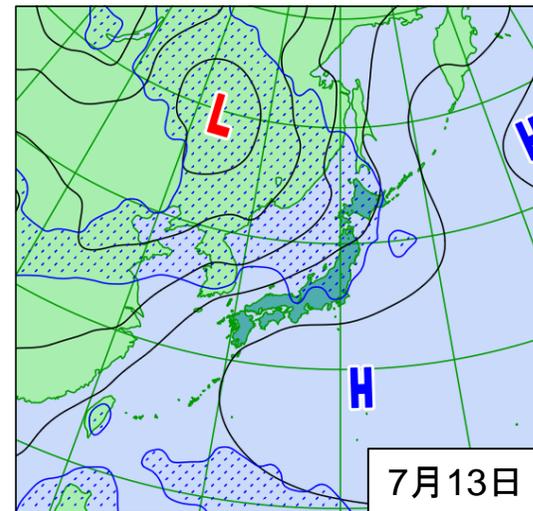
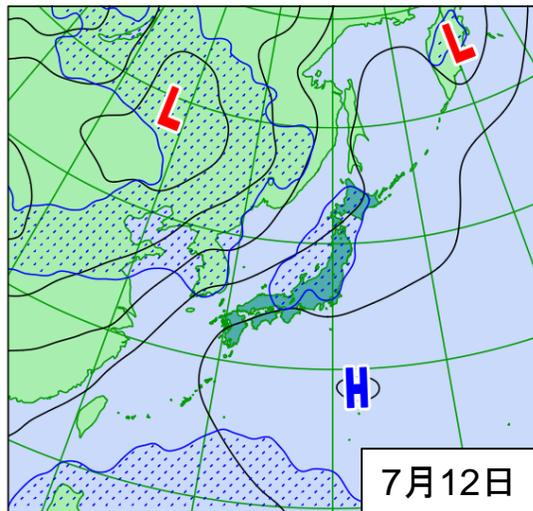
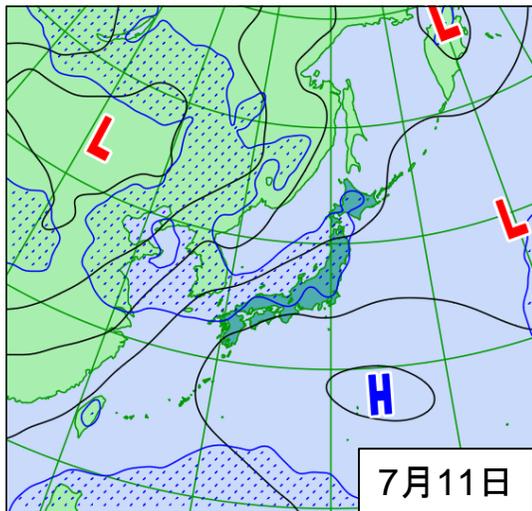
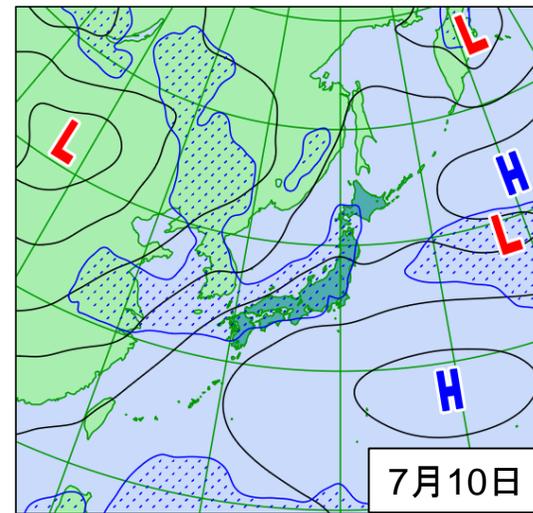
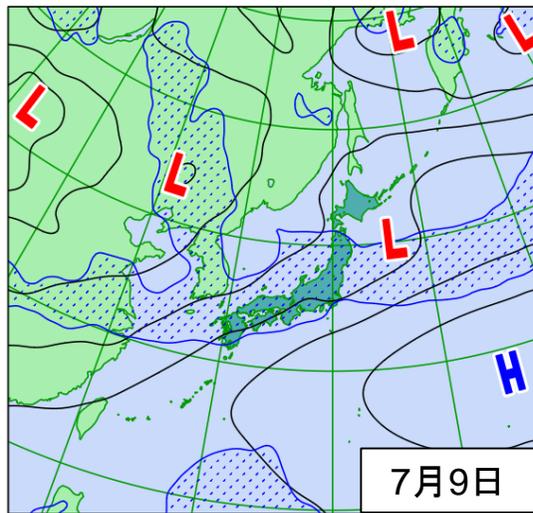
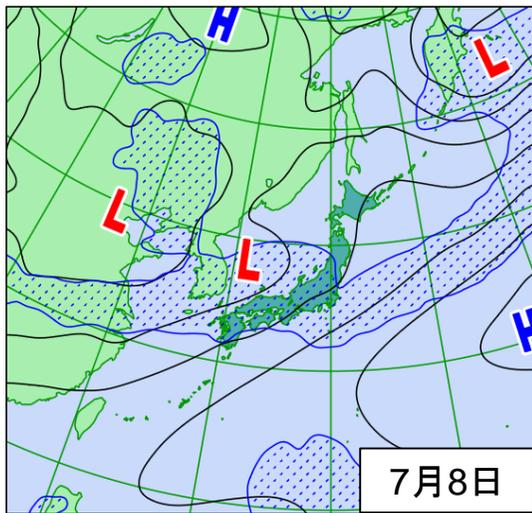
【警報級となる可能性のある期間】

【大雨の見通し】(単位:ミリメートル)

日	6日		7日		8日	9日	10日	11日	地域	7日12時までの 24時間雨量	8日12時までの 24時間雨量	9日12時までの 24時間雨量
	時	12~18	18~6	6~24								
北海道地方	大雨								北海道地方	100		
北陸地方	大雨								北陸地方		およそ50	100~150
東海地方	大雨								東海地方		およそ50	100~150
中国地方	大雨								中国地方		50~100	100~150
九州北部地方	大雨								九州北部地方	50	100~200	200~300
九州南部	大雨								九州南部	60	50~100	100~150

(黄色が可能性がある、赤色が可能性が高い)

今後1週間の見通し



L: 低気圧、H: 高気圧

■: 降水が予想される範囲

<ポイント> 梅雨前線は、11日以降も日本付近に停滞するため、今後の気象情報に留意。